

平成16・17・18年度学校評価比較(自己評価)中間
達成基準

2006年7月

A そう思う B そう思うことが多い C あまり思わない D 思わない

16年度回答総数・・・17名

17年度回答総数

本校職員18名

17年度回答総数

本校職員16名

	16年度		17年度最終		18年度最終		16年度 A+Bの割合	変化	17年度 A+Bの割合	変化	18年度 A+Bの割合		
	A+B	以外	A+B	以外	A+B	以外							
1 基本的な生活習慣の確立	校舎内外の巡視を行い、問題行動の発生を未然に防ぐことに努めます。		15	2	15	3	15	1	88.2%	→	88.2%	→	93.8%
	基本的な生活習慣や礼儀を身に付けるための適切な指導を行います。		10	7	17	1	15	1	58.8%	↗	82.4%	↗	93.8%
	服装・ことば遣い・マナー違反を是正する指導を適宜行います。		13	4	15	3	15	1	76.5%	→	70.6%	↗	93.8%
	問題生徒の家庭と連絡を密にして意思疎通をきめ細かく行います。		15	2	15	3	14	2	88.2%	→	82.4%	→	87.5%
	カウンセラー室・保健室の利用状況を月ごとにまとめて教職員が問題を共有して対処し内容の検討につとめます。		9	8	10	8	12	4	52.9%	↗	64.7%	↗	75.0%
	担任とカウンセラーが定期的に意見交換を行い、生徒の問題の早期発見と対応が迅速にできるようにします。		12	5	9	9	14	2	70.6%	↘	47.1%	↗	87.5%
	職員会議等で教育相談係が参加した研修の報告を行い、最近の生徒問題の傾向や新しい考え方を知らせます。		6	11	7	11	11	5	35.3%	→	35.3%	↗	68.8%
2 学力向上の取り組み	基礎・基本的な内容を重視し、基礎学力・基礎技術の確実な定着・習得を図ります。		10	7	15	3	14	2	58.8%	↗	82.4%	→	87.5%
	生徒の実態に合わせた、数学と英語で習熟度別授業を行います。		10	7	16	2	13	3	58.8%	→	64.7%	↗	81.3%
	選択科目を増やして少人数授業で学習効果を高めめます。		13	4	16	2	13	3	76.5%	↗	82.4%	→	81.3%
	学習環境を整えて授業に臨ませ、授業規律の確立を図ります。		10	7	15	3	13	3	58.8%	→	52.9%	↗	81.3%
3 適切な進路指導	1年生時から、生徒・保護者に、就職・進学情報の提供に努めます。		10	7	14	4	13	3	58.8%	→	58.8%	↗	81.3%
	補習授業・補充授業・小論文指導・添削指導を実施し個々の生徒の学力向上に努めます。		8	9	13	5	9	7	47.1%	↗	58.8%	→	56.3%
	一般常識テストや基礎学力テストを実施し、基礎学力や一般常識を身に付けさせます。		12	5	10	8	7	9	70.6%	↘	47.1%	→	43.8%
	模擬面接を実施し、就職試験・推薦入試に対する準備をさせるとともに、必要に応じて繰り返し練習させます。		13	4	16	2	12	4	76.5%	→	76.5%	→	75.0%
	演劇関連の新しい進路先(進学、就職)の開拓に努めます。		5	12	12	6	9	7	29.4%	↗	64.7%	↘	56.3%
4 演劇教育	生徒が自主制作した公演を、年間5回以上学校外で行います。		10	7	17	1	15	1	58.8%	↗	70.6%	↗	93.8%
	卒業公演を成功に導くことで、演劇教育をアピールし、県民の理解を深めます。		14	3	17	1	16	0	82.4%	→	82.4%	↗	100%